

Special Feature

## 現代のFAST FOOD & DINER

New Shop & Environment

## LAS DOS CARAS

Feature Article

Bar & Club / Food Store



日本1号店となる  
ミラノ発ピッツェリア

## PIZZERIA SPONTINI

カスケード原宿店

DESIGNER :  
GLA Giuseppe Leida Architeti

## 本国のデザインを引き継ぐ、 くつろぎの空間

イタリア・ミラノで60年以上の歴史を誇るピッツェリア「スポンティーニ」の海外進出第1店舗目です。JR原宿駅から徒歩10分、細い路地を入った場所にある「カスケード原宿」の2階に位置しています。ファサードはCIカラーの赤を打ち出すことで視認性を高め、内部のにぎわいを見せることで、来店を誘因することを考慮しました。店内は赤・白が基調である本国のデザインをベースとしながら、従来のファストフード店とは一線を画す店づくりを考え、床はモルタル仕上げ、壁面に古木材を使用し、テーブルやイスにアンティーク

調のウッドやアイアンを使用することで、くつろげるカフェのような空間を演出しました。飲食の情報発信・収集に敏感で流行をつくる若年層のみならず、店舗周辺の高感度な住民まで、幅広い年齢層が日常的に気軽に来店できる店舗としました。また、店内中央には1人でも気軽に来店できるコミュニティテーブルを配し、このテーブル部分の床面にモザイクタイルを敷き詰めることで、仕切りのない空間の中にメリハリを加えています。テラスにもCIカラーの赤を使用したパラソルとイスを置き、ミラノ本店のイメージを踏襲しつつ内部スペースと連動させ、テラスを含めて一体的な店舗空間となるようデザインしました。

(J-World Diner)



左/店内をエントランス方向に見通す。本国のシンプルな店舗デザインを踏襲しつつ、温かみを付加するためにベンチ席背面に白く塗装した古材を貼った。ハイテーブルを中心に構成されることが多い本国の店舗と比べ、ゆとりある間隔でテーブルとイスを配置 下左/運搬に3カ月を掛けイタリアより輸入したピザ窯と、オリジナルのピザカッターを見せ、キッチンの臨場感を見せるオーダーカウンター 下右/長さ5400mmのビッグテーブルと対応した形状の床部分をモザイクタイル敷きとした



撮影/高木康広



上/店内をエントランス前より見る  
下/「カスケード原宿」の共用部から見たテラス席

「ピッツェリア スポンティーニ カスケード原宿店」 data

設計：GLA Giuseppe Leida Architetti  
 協力：設計 ギャルドユウ・エス・ビイ  
 施工：建築 ボルテックス 内装 ギャルドユウ・エス・ビイ  
 所在地：東京都渋谷区神宮前1丁目10-37 カスケード原宿2階  
 工事種別：内装のみ 新築  
 床面積：214㎡（うち厨房70㎡）  
 工期：2015年9月1日～10月20日  
 施工協力：空調・給排水衛生設備/東京テクノ 電気設備/セント照明 厨房設備/マルゼン

営業内容

開店：2015年10月30日  
 営業時間：午前11時～午後11時  
 定休日：なし  
 電話：(03) 6434-5850  
 経営者：J-World Diner(株)  
 従業員：8人  
 客席数：93席 店内/81席 テラス/12席  
 主なメニューと単価：マルゲリータ896 マリナーラ842  
 マルゲリータ(1ホール) 5184 ソフトドリンク237～  
 アルコール類432～

主な仕上げ材料

サイン：アルミ板メラミン焼き付け塗装  
 床：モルタル金ゴテ仕上げ 一部モザイクタイル貼り  
 壁：スケルトン LGS組みPB下地AEP 古材貼り  
 天井：スケルトン  
 家具：アンティーク  
 什器：メラミン化粧板貼り

